

監査結果の公表(その1)

令和4年度 定期監査(その1)を実施した結果(一部抜粋)を次のとおり公表します。



▲全 文 はこちら

茂原市監査委員 風戸博恭
茂原市監査委員 山田広宣

◆監査の対象

- ・総務部
総務課、秘書広報課、職員課、管財課、防災対策課
- ・企画財政部
企画政策課、財政課、市民税課、資産税課、収税課
- ・会計課、議会事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、監査委員事務局

◆監査の着眼点

各所管の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理並びにその他の事務の執行が法令等に適合し、適正かつ正確に行われているか、最少の経費で最大の効果を挙げ、

組織及び運営の合理化に努めているかに主眼を置き監査を実施した。

◆監査の実施内容

各部署から提出された定期監査資料について、補助職員による予備監査を実施し、監査当日は、監査対象部署の長等から説明を受け、関係職員に対して質疑を行うことにより実施した。

◆監査の場所

◆監査の期間

令和4年9月14日から11月28日まで

◆監査の結果

監査の結果、法令等に適合し、概ね適正に執行されていたが、一部検討が必要と認められる事項が見受けられた。なお、複数の部署に共通する事項については【共通事項】に掲げ、各部署への個別事項については【部署別事項】に掲げた。

【共通事項】

全課共通

・本市における今後の財政運

営は、様々な要因により一層厳しくなることが予想される。

少子化や高齢化に対応するための経費、さらには懸案の災害対策に係る経費等、様々な

行政需要による財政負担の増加に加え、市民生活に密接に

関連するごみの新最終処分場の建設や長生病院B棟の改築等、長生郡市広域市町村圏組合の大規模事業の実施に伴い

負担金も大幅に増加することが見込まれている。このような状況を十分認識し、危機感

を持つて事業の実施にあたるとともに、経費の節減に努め、事業の見直しについても積極的に検討されたい。

・新型コロナウイルス感染症は、市民生活に大きな影響を与え、生活スタイルの変更をも余儀なくされた。行政運営

においても業務量の増加やコロナ対応のための業務手法の変更等大きな影響をもたらしている。ウイズコロナ・ポスト

コロナを見据え、よりよき未来を市民とともに再構築していくため、職員各々が「業務

が何のためであるか」を常に念頭におきながら、事務事業

の着実な推進に努められたい。

【市民税課・資産税課共通】

・事務事業に係る課題とその解決策を職場内で共有するとともに、OJT^{*1}等による知識習得に努め、適正な課税

業務を遂行されたい。

・税負担の公平性の観点から、今後も様々な工夫により正確での確な課税客体の把握に努められたい。

【部署別事項】

〈総務部〉

総務課

・DX^{*2}の推進にあたっては、市民の行政手続きの簡素化や利便性の向上等、全ての

市民が様々な形でデジタルサービスの恩恵を受けられるよう、市民ニーズに応じた施策

推進に努められたい。

・マイナンバーカードについては、市民生活利便性向上のため欠かせないものであることから、更なる啓発により交

付率向上に努められたい。また、印鑑登録証や図書館カード等と一体化するなど、市民

目線に立った本市独自の利用方法についても検討されたい。

秘書広報課

・広聴活動にあたっては、学

生から高齢者まで幅広い年代から多種多様な意見を得られるよう、様々な手法を検討し、積極的な対応を図られたい。

職員課

・行政事務の複雑化、高度化に対応していくためには、職員一人ひとりの意識改革や知識の習得が必要となることから、各所属の管理職と連携しながらOJT^{*1}等による人材育成に取り組み、職員の資質及び専門性の向上に努められたい。

管財課

・普通財産については、歳入確保や維持管理費削減の観点から、保有目的を整理したうえで、有償貸付を行っている財産等の処分についても検討されたい。

防災対策課

・防災訓練の実施にあたっては、予測不能な災害に備えるため、地域住民の防災意識の高揚に効果的な訓練の在り方や実施方法の大胆な変更について検討されたい。

・各指定避難所については、収容可能人数が定められていることから、各避難所の収容状況の見える化を検討された